

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長 森 明彦
受託設計・工事監理		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 道路
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 委託各課
総合計画上の位置付け	分野	施策の方針	

1 事業の目的

対象	関係各課
意図	道路・河川・下水道関連施設以外の公共工事に係る事務効率の向上及び経費削減
効果	道路・河川・下水道関連施設以外の公共工事に係る事務効率の向上及び経費削減

2 平成26年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・史跡永福寺跡の苑池復元整備に関する積算業務等 ・史跡永福寺跡の苑池復元整備工事 ・史跡永福寺跡復元整備工事に関する監理業務 ・腰越漁港改修整備工事 ・腰越漁港改修整備箇所周辺の環境モニタリング(水質・底質・生態系) ・市有地災害復旧工事(極楽寺) ・史跡北条氏常盤亭跡の斜面防災工事
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)		決算値(千円)		
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	0	一般財源	0	
事業経費運営	人員配置数	2.0	人員配置数	2.0	
	人件費(千円)	15,871	人件費(千円)	16,969	
	総事業費(千円)	15,871	総事業費(千円)	16,969	
	市民1人当りの経費(円)	90	市民1人当りの経費(円)	96	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	委任工事について、担当課は専門知識が低いため、その調整に時間を要する。また、委任工事の実施時期や次年度の概算要求が一定期間に集中する。
課題解決のために行った平成26年度の取組	業務の円滑化には委任課の協力が不可欠であるため、委任課に対して積極的な働きかけを行なった。
未解決の課題 新たな課題	受託設計・工事監理は専門性が高く、その中で本課としては、道路課本来の道路業務に携わりながら、専門外の技術的な相談及び概算見積などの業務を行なっているため、十分な対応が図れない状況にある。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協働	協働実施済の場合のパートナー	

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 道路課本来の業務に支障を生じているため、委任部署の事業に対する意識改革、委任部署自らの予算措置による外注システムの確立などの検討を行う必要がある。
	事業へ統合		
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	委任部署自らが予算措置を行い、その中で設計・積算・工事監理等の外注システムの確立を検討していく必要がある。
総評	平成17年度から、鎌倉駅及び大船駅周辺区での都市再生整備事業を展開するとともに、他部書からの委任工事として史跡永福寺跡復元整備工事、史跡北条氏常盤亭跡の斜面防災工事などの大型プロジェクトを展開していることから、道路事業に支障をきたさないよう、専門部署の創設、委任部署の事業に対する意識改革、委任部署自らの予算措置による外注システムの確立などの検討を行う。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---